

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 6 月 14 日 (2012.6.14)

【公開番号】特開 2009-7289 (P2009-7289A)

【公開日】平成 21 年 1 月 15 日 (2009.1.15)

【年通号数】公開・登録公報 2009-002

【出願番号】特願 2007-169635 (P2007-169635)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/67 (2006.01)

A 6 1 K 8/55 (2006.01)

A 6 1 K 8/04 (2006.01)

A 6 1 K 8/49 (2006.01)

A 6 1 K 8/97 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 8/67

A 6 1 K 8/55

A 6 1 K 8/04

A 6 1 K 8/49

A 6 1 K 8/97

A 6 1 Q 19/00

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 4 月 27 日 (2012.4.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) アスタキサンチン、ポリグリセリン脂肪酸エステル、及びリン脂質又はその誘導体を含むエマルジョン粒子；

(b) リン酸アスコルビルマグネシウム、及びリン酸アスコルビルナトリウムから選ばれる少なくとも 1 種のアスコルビン酸誘導体；並びに

(c) p H 調整剤
を含有する、p H が 5 . 0 ~ 7 . 5 の分散組成物。

【請求項 2】

リン脂質又はその誘導体がレシチンである、請求項 1 に記載の分散組成物。

【請求項 3】

更にトコフェロールを含む、請求項 1 又は請求項 2 に記載の分散組成物。

【請求項 4】

更にグリセリンを含む、請求項 1 ~ 請求項 5 のいずれか 1 項記載の分散組成物。

【請求項 5】

前記分散組成物中のエマルジョン粒子の平均粒子径が 2 0 0 n m 以下である請求項 1 ~ 請求項 4 のいずれか 1 項記載の分散組成物。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 請求項 5 のいずれか 1 項記載の分散組成物を含むスキンケア用化粧料。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 請求項 5 のいずれか 1 項記載の分散組成物の製造方法であって、
アスタキサンチンを含有するカロテノイド含有油溶性成分、ポリグリセリン脂肪酸エス
テル及びリン脂質又はその誘導体と、水相とを混合して、エマルジョン粒子を有する水分
散物を得ること、

前記水分散物と、リン酸アスコルビルナトリウム及びリン酸アスコルビルマグネシウム
から選ばれる少なくとも 1 種のアスコルビン酸誘導体を含む水性組成物とを混合して、平
均粒子径 200 nm 以下のエマルジョン粒子を有する分散組成物を得ること、

分散組成物の pH を 5 ~ 7.5 に調整すること、
を含む分散組成物の製造方法。

【請求項 8】

リン脂質又はその誘導体の含有量が、前記水分散物全体の質量に対して 0.001 質量
% 以上 20 質量 % 以下である、請求項 7 記載の分散組成物の製造方法。

【請求項 9】

請求項 7 又は請求項 8 の製造方法により得られた分散組成物。